

新幼支第188号の2
令和6年6月3日

保育園長様
認定こども園長様
地域型保育事業施設長様
認可外保育施設長様
病児・病後児保育事業施設長様

新潟市こども未来部
幼保支援課長
(幼児教育・保育グループ)

事故集計報告（令和5年度分）について

日ごろより、園児の健康及び安全について十分ご配慮いただき感謝申し上げます。
保育施設におけるケガや事故の状況を把握するため、園児の事故発生状況をご報告いただきしておりますが、この度、令和5年度に提出いただいた「災害報告書（市立）」「事故報告書（私立）」を集計し、年間の事故件数集計結果を別紙のとおりまとめました。年間の事故の傾向についてご確認いただき、事故予防の取り組みの参考にしていただきますようお願ひいたします。

◆問い合わせ先◆

新潟市こども未来部幼保支援課
幼児教育・保育グループ 長谷川
TEL 025-226-1216

【事故報告件数(R5.4月～R6.3月)】

* 事故報告件数は、市立・私立保育園、認定こども園、地域型保育事業施設の合計

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
報告件数(合計)*	134	159	145	116	123	123	147	152	123	115	144	137	1618
部位別※	頭	8	15	7	4	6	7	10	6	5	11	12	3
	額	4	14	7	7	2	10	7	10	9	6	10	9
	目・目の周り	31	20	20	10	16	13	23	21	17	9	16	16
	頬	10	6	4	5	5	4	8	15	19	11	1	8
	耳	1	1	0	1	1	1	4	1	1	3	2	1
	鼻	1	4	2	5	5	1	3	4	3	2	5	3
	歯・口腔・口の周り	49	55	51	43	44	42	45	55	32	33	50	48
	あご	6	6	7	2	5	2	5	4	6	3	7	1
	体幹	2	2	2	1	3	2	5	0	1	5	2	1
	上肢	18	22	27	27	25	30	29	29	19	24	28	36
	下肢	4	14	18	11	11	11	8	7	11	8	11	11
うち県・国への報告	0	2	3	0	1	1	0	2	0	1	3	1	14
令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
報告件数(合計)*	112	124	163	133	70	153	152	135	133	115	117	128	1535
部位※	骨折	4	8	2	6	5	13	10	9	7	3	2	9
	頭	7	9	11	8	4	8	4	5	3	3	7	5
	口・歯	35	33	50	50	22	39	45	42	45	48	43	41
	目・目の周り	10	10	24	13	7	26	23	26	13	12	16	17
	額	4	10	11	5	3	15	15	1	15	7	5	7
	鼻	5	2	2	1	2	3	7	7	3	1	2	2
	あご	4	3	4	4	4	3	2	3	3	6	2	2
	頬	12	8	14	5	6	5	7	8	7	11	6	9
	肘内障	11	16	16	15	6	11	12	17	10	8	6	10
	その他	20	25	29	26	11	30	27	17	27	16	28	26
うち県・国への報告	1	2	0	0	1	1	2	2	0	1	1	0	11

令和5年度の年間事故報告件数は、1618件でした。

昨年度と比較すると...

4年度 1535件

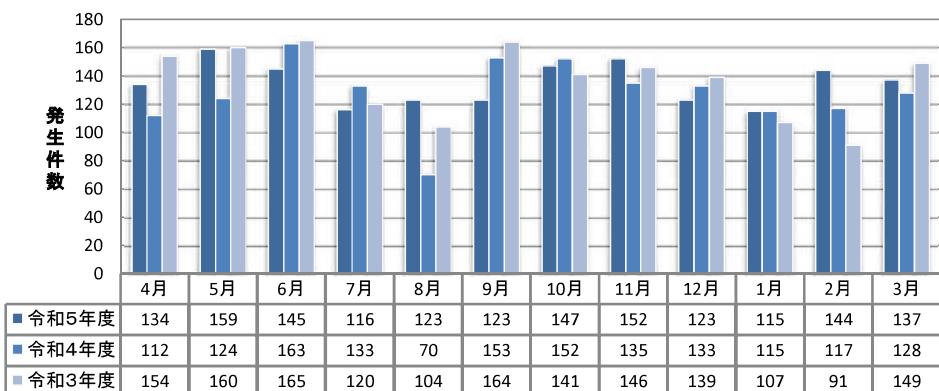
5年度 1618件

となっており、昨年度より83件増加しています。

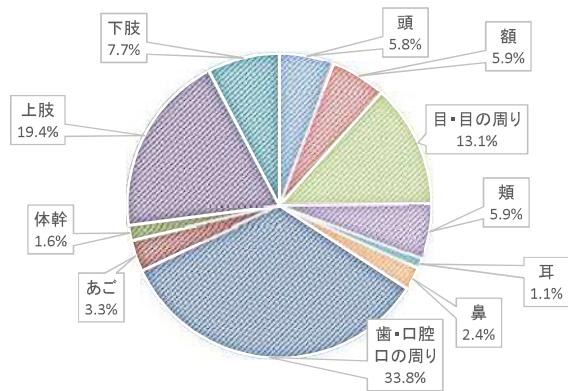
R5. 5月から、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや秋から冬、例年に比べて暖かく、雪が少なかった天候に影響されたことが要因として考えられます。



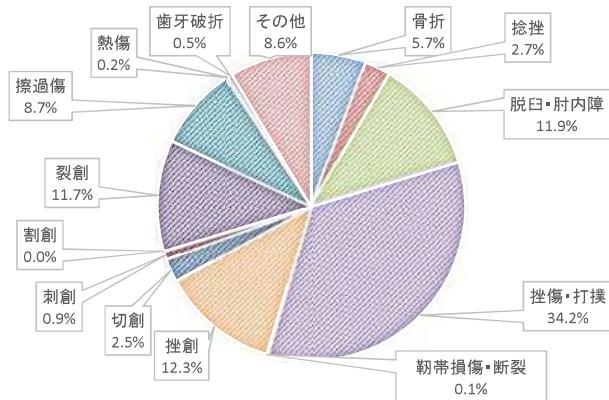
【月毎の事故報告件数】



【部位別事故件数の割合】 (R5.4月～R6.3月)



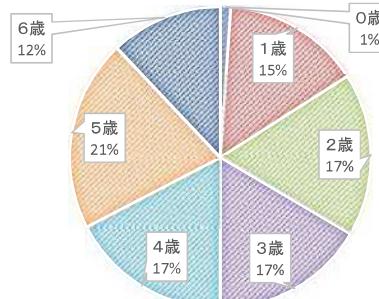
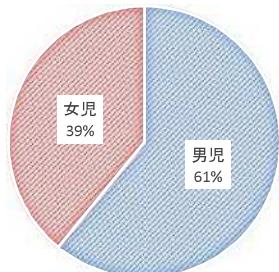
【負傷別事故件数の割合】 (R5.4月～R6.3月)



上記は、部位別事故件数の割合を示したグラフです。「歯・口腔・口の周り」「上肢」「目・目の周り」の順に多くなっており、65.5%が顔面のケガということがわかります。「歯・口腔・口の周り」は、打撲・唇や上唇小帯を切る、「上肢」は肘内障や骨折、「目・目の周り」は打撲傷や挫創が多く報告されています。

負傷別の割合をみると、「挫傷・打撲」が一番多く34.2%、次いで「挫創」12.3%、「脱臼・肘内障」11.9%、「裂創」が11.7%となっています。
 挫傷・打撲傷など傷口ができていないケガ
 挫創・傷口ができたケガ
 裂創・皮膚が裂けてできた傷
 切創・ガラスや刃物などで切断されたケガ
 事故報告の際、負傷の種類の選択を間違えないようにしましょう。

【事故件数/男女比及び年齢比】 (R5.4月～R6.3月)



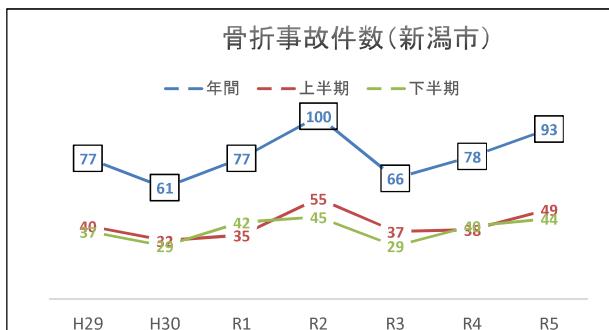
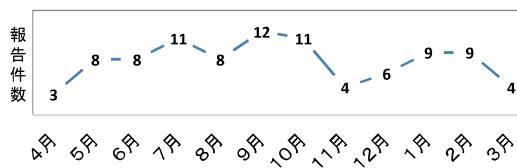
	男児	女児	計	年齢比
0歳	8	10	18	1%
1歳	158	82	240	16%
2歳	173	111	284	17%
3歳	163	105	268	16%
4歳	168	112	280	17%
5歳	202	131	333	24%
6歳	114	81	195	8%
計	986	632	1618	

男女比は、男児61%、女児39%でおおむね6:4の割合です。R3～R5は、まったく同じ割合でした。女児より男児の事故が多いというのは全國的な傾向であります。日頃から子どもたちの遊び方に注視ていきましょう。

年齢による事故件数の差は、あまりありませんが(0歳を除く)、年齢が上がるとあそびもダイナミックになってくるので大きな事故が発生しやすいようです。骨折事故93件の年齢別内訳をみると、0歳1件、1歳6件、2歳7件、3歳10件、4歳19件、5歳30件、6歳20件で大きな事故に繋がっていることがわかります。

【骨折事故について】

骨折事故発生報告数(R5月別)



令和5年度上半期の骨折事故は49件、下半期は44件発生しています。

負傷別にみると6%ではありますが、年間93件は決して少ない数字ではないと思います。上のグラフは、R5年度の月別発生件数、右上のグラフは、H29～R5の年度別発生件数を示したものです。

R5年度は、R2年度の100件に次いで2番目に多い件数でした。

比較的軽度な骨折から手術を伴うものまで、その状況は幅広いのですが、いずれにしても、痛みを伴い、生活に支障が出てきます。どのような場面で骨折事故が発生しやすいのか、重大事故事例を参考に園でも検討してみましょう。



【令和5年度 新潟市事故報告件数】

課へ届いた年間事故報告件数

1618 件

市立保育施設(84/84 園) 573 件
 私立保育園(47/58 園) 268 件
 私立認定こども園(88/118 園) 758 件
 地域型保育事業施設(9/26 園) 19 件
 * (事故報告提出施設数/全施設数)



重大事故等件数

156 件

(全報告件数の 9.6%)

骨折 93 件

〈内訳〉 下肢 : 30 上肢 : 56
 鎖骨 : 4 鼻骨 : 1
 齒根 : 2

縫合 56 件

〈内訳〉 頭 : 16 頸 : 12 頚 : 9
 目・目の周り : 6 耳 : 1
 口 : 8 頬 : 1
 まゆ : 2 下肢 : 1

歯・口腔内 4 件

その他 3 件 〈内訳〉 火傷 : 3

R 5 国報告した事故件数

14 件

<公私別>

市立 4 件
 私立 10 件

<男女別>

男 10 件
 女 4 件

<施設別>

保育園 6 件
 認定こども園 8 件

<内容別>

骨折 13 件
 歯 1 件

<満年齢別>

1歳	1 件	2歳	1 件
3歳	1 件	4歳	6 件
5歳	3 件	6歳	2 件

【国報告対象重大事故発生状況(R5.4月～R6.3月)】

令和5年度、国への報告対象となった事故は以下の通りです。

<国への報告対象となる重大事故とは>

- ・死亡事故
- ・意識不明事故(どんな刺激にも反応しない状態に陥ったもの)
- ・治療に要する期間が30日以上の負傷や疾病を伴う重篤な事故

R6.3 月より変更

月	満年令 性別	場所	発生状況
	傷病名	時間	
5月	5歳 男児 <u>右前腕開放骨折</u>	遊戯室 11:20頃	ドッヂボールで自分が投げたボールをとるため内野を突っ切り、反対側の外野へ行く際、内野でうずくまる姿勢をとっていた他児をよけきれず、右腕から床につくような形で転倒。
5月	4歳 男児 <u>左前腕骨折</u>	園庭 16:00頃	保育士の傍にいた本児が動こうとしたとき、足元にあった石の足場にふくらはぎが触れてバランスを崩し転倒。その際、左手に体重がかかり手をひねって地面についた。
6月	6歳 女児 <u>左手首骨折</u>	園庭 14:40	園庭にある雲梯で遊んでいたが、雲梯から落下し着地する際、左手を地面についた。
6月	5歳 男児 <u>左上腕骨頸上骨折</u>	園庭 16:20頃	鬼ごっこで鬼役となった本児が、他児を追いかけていた時、アスファルト上の濡れた土で足を滑らせ転倒。その際左手をついた(手術)
6月	1歳 男児 <u>右尺骨骨幹部骨折</u>	遊戯室 10:30頃	園外保育から園に戻り、部屋に入るのを待っている間にお散歩カートの中で他児とトラブルがあった。その後利き手を使わないとめ受診したら骨折の診断を受けた。園外保育中は変わりなく遊んでいた。
8月	4歳 男児 <u>右モンテジア脱臼骨折</u>	遊戯室 8:50頃	他児と並んで走っていたところ転倒。 本児の上半身が自身の右肘の上あたりに覆いかぶさるように転倒した。
9月	4歳 女児 <u>左上腕骨頸上骨折</u>	遊戯室 10:30	鬼ごっこをしているとき、他児と交錯し、左腕が体の下に入った状態で転倒していた。診察後痛みとしびれの症状があり、緊急手術を行った。
11月	3歳 女児 <u>骨折(ソルターハリスⅡ型)</u>	遊戯室 10:00頃	遊戯室に入る際、引き戸に右足小指をぶつけた。 骨端線損傷。全治6か月~1年の診断により国への報告対象となった。
11月	4歳 男児 <u>右上腕骨頸上骨折</u>	遊戯室 16:10頃	繋いだソフト積木の上をバランスをとりながら歩いていたところ、保育者が本児から視線を外した瞬間転倒。 緊急処置が必要となり手術を行った。
1月	4歳 男児 <u>右足大腿骨骨折</u>	遊戯室 10:25	室内用トンネルに5名の園児が入っていった。四つ這いの体制でトンネルに入った本児が、出てきたとき出口付近で突っ伏して泣いていた。特に異常は見られなかったが、足を床に着こうとしなかった。手術の予定はないが、入院治療を行う。
2月	4歳 女児 <u>上腕骨頸上骨折</u>	園庭 9:45	3人で手をつないだ状態で走り出したところ、転倒。(手術)
2月	5歳 男児 <u>右鎖骨骨折</u>	園庭 11:20	片付けの際、テラスで転倒。 他児との接触はなかった。
2月	2歳 男児 <u>外傷性歯の亜脱臼</u>	保育室 9:25	他児が足で作ったトンネルをぐるうとしたが、なかなか進まなかつたため、他児が上から押したため床に口をぶつけてしまった。
3月	6歳 男児 <u>右腕遠位端骨折</u>	遊戯室 11:20	ドッヂボールで、ボールを避けるために走り出した時、他児とぶつかった反動で転倒。その際、ステージの角に右手首甲をぶつけた。